横浜市立川上小学校　SDGsの授業
「つくる責任　つかう責任～チョコレートの現場から」

実施時間　13:40～14:20
①3種類のチョコレートの名前、価格、重さの情報で1個を選ぶ。
②カカオの生産現場を写真で知る。
③パッケージ裏に書かれた情報を読む。児童労働解決の取組として寄付とフェアトレードをロールプレイで理解する。
④学びを踏まえて改めて1個を選ぶ。イギリスのスーパーでのFT商品の普及を知り、消費のもつ力と責任を理解する。

2021年12月2日、横浜市立川上小学校5年生60人を対象に、SDGsの12番「つくる責任　つかう責任」を学習する授業を実施しました。

子どもに身近なチョコレートを題材として、児童労働の現状を実感してもらいました。より良い社会のために、消費者が情報を読み取り、商品を選んで買うことの意味と責任を伝えました。

受講者の感想

・私たちは普通に学校に行っていても学校に行くことが当たり前ではないことがわかった。
・今までは自分たちのことばかり考えていたから、これからは生産者のことを考えたい。
・量とお金で決めずにフェアトレードのマークを見てきめるようにしたらいいと思った。